

【情報共有シート】新型コロナウイルスワクチン接種 先行接種施設一覧

| | | | | | | | | | |
|--------|------|--|--|---|---|--|--|--|--|
| 基本情報 | 設問1 | 所在区 | 川崎区 | 幸区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区 | 多摩区 | 麻生区 |
| | 設問2 | 施設名 | ビオラ川崎 | みんなと暮らす町 | ひらまの里 | すえなが | わらく桃の丘 | よみうりランド花ハウス | 柿生アルナ園 |
| | 設問3 | 入居定員／接種予定人数 | 120名 | 120名 | 定員84名 /接種予定82名(当初86名を予定していたが、入院やご逝去等あり減少) | 104名 | 90名/90名 | 150/150 | 80名 |
| 接種について | 設問4 | 接種実施医師 | 協力医療機関医師 | 関口 博仁 | 中岡 康先生 | 梶ヶ谷クリニック 羽生友起子医師 | 国島医院 | 施設の嘱託契約クリニック医師 | 鈴木 宏行 |
| | 設問5 | 通常のお診日・お診時間のみで対応したか 別途日時を増やしたか | 別日で実施 | 週2日、60分 | 通常お診曜日：火・金 ワクチンについては通常お診時間に接種 | 通常お診：毎週月曜日 →ワクチンは月曜日と金曜日に接種 接種スケジュールを考え、1回目と2回目が重複しないようにした | 通常お診：毎週金曜日 金曜日に接種 3グループ摂取時は医師2名体制 水曜日に接種 | 通常お診は毎週月・水の午後 ワクチン接種は回診とは別医師で別日を設定 | 週火・金13:45～(通) 金・土13:30～ 60分程度(ワクチン接種) |
| | 設問6 | 接種スケジュール (日程／人数／回数) | 4/20 80名(1回目) 4/21 35名(1回目) 5/11 80名(2回目予定) 5/12 35名(2回目予定) | 1回目(4月12、13、16、20、23日) 2回目(5月7、11、14、18日(予定)) ※1日の接種人数20～30名 ※全接種回数210回(予定) | 4/13 20名(第1回目) 5/7 20名(第2回目) 4/16 20名(第1回目) 5/11 20名(第2回目) 4/20 25名(第1回目) 5/14 25名(第2回目) 4/23 25名(第1回目) 5/18 25名(第2回目) | 4/12 20名(1回目) 4/16 25名(1回目) 4/19 30名(1回目) 4/23 27名(1回目)+職員3名(1回目) | 4/16 1グループ30名/1回目 4/23 2グループ30名/1回目 4/28 3グループ30名/1回目 | 1回目(4/13 70人、4/14 80人)済み 2回目(5/7 150人)予定 | 1回目(4月16、17、23、24日) 2回目(5月7、8、14、15日(予定)) ※1日の接種人数20名 ※全接種回数160回(予定) |
| | 設問7 | 接種当日のタイムスケジュール (接種当日の準備から接種終了まで) | 接種前日にワクチン23バイアル届く。 接種当日7:30 ワクチン8バイアル常温解凍 8:00 希釈開始 9:30 接種開始 10:40 40名の接種及び観察終了 12:00 ワクチン8バイアル常温解凍後、午前中同様に進めた | 先生の滞在時間が90分だったので、そこから逆算してスケジュール、そして30分は経過観察する時間を設けた 4/12当日 10:30 ワクチン届く (8バイアルのうち、4バイアル常温解凍) 11:30 希釈開始 13:30 接種開始 ※ワクチンは4/12、4/13分 ワクチンは解凍後5日間有効ということだったので、4/16は別便にした | 8:30前日に届いたワクチン8バイアルのうち4バイアルを冷蔵庫から取り出し常温に 9:00希釈開始(9:20希釈終了) 9:50接種開始(10:10接種終了) 接種後11:00頃まで状態の経過観察 | 4/9(金)ワクチン届く(4バイアル)冷蔵庫保管 4/12(月)13:30～希釈・注射器充填開始 14:00～接種開始 ～15:00 経過観察終了 | 9:00 希釈開始 10:00 嘱託医による問診開始 10:30 問診終了者より接種開始 11:00 接種終了 | 予診票は接種日前に医師が目通しし、接種除外者を事前に判断。 ワクチンは4/12に到着し施設の冷蔵庫で保管。 接種当日は、朝から接種予定者のバイタルチェック、8時頃から希釈作業開始。 9時半から接種開始。 1フロア4ユニットを順番に接種。最初は1フロア40分程度で接種できた。 医師は昼まで待機し、午前中で完了。 | 4/16当日 10:30 ワクチン到着。配送業者とワクチン保管BOXの温度確認と物品の確認をし書類にサインする。 (使用するワクチンバイアルは30分の室温解凍、残りのバイアルは翌日分にて2～8℃ の冷蔵で保管) 11:00 希釈開始(室内電灯を消す、直射日光を避ける) 注射器に充填後は室温(2～30℃)にて接種時間まで蓋のできる医療用バットに保管。 12:00充填終了。ここまで2時間以内に行い、更に6時間以内に接種する。 13:30 接種開始、接種終了の方の接種時間を記入したテープを車椅子のグリップに貼り、30分間の様子観察開始。30分後Dr確認終了の方から順次戻っていただく。 14:30終了予定。 ※ワクチンは4/16、4/17日分 |
| | 設問8 | 接種状況 (例)ユニット単位、基礎疾患がない方、 悪発発作の方は打たない 等 | ユニット単位 各共同生活室で接種 | 2ユニット単位 | 2階3階フロアのご利用者 ・接種後嘱託医より2日間入浴を控えるよう指示があったため入浴日のタイミングで調整 ・感染が拡大される可能性があることから動きがある人 ・状態が比較的良好の方 | ・少人数 ・基礎疾患がない方 ・痛みや痒みが自ら報告できる方 ・接種者は全員右腕に接種し、 事後の観察がしやすいよう工夫した | ・1フロア毎に接種 ・嘱託医の指示により医師2名体制の方が安心の方は3グループ目に日程調整 | 基礎疾患、アレルギー経験、服薬状況などで接種回避する方は事前にスクリーニング 医師1名、看護師2名のチームで各ユニットへ訪問して接種 接種後の様子観察はフロアのスタッフ(看護職、介護職)が連携して対応 | 嘱託医が既往歴と当日の健康状態を確認して判断。居室順に接種場所(食堂)に誘導した。 |
| | 設問9 | ワクチンがどのように届いたか／ どのように保管したか | 納品日にヤマト運輸から配送時間の連絡が入る。 保冷バッグに入った状態で届けるまでがヤマト運輸の仕事。ワクチンの取り出しからが施設の作業 看護師が軍手をして取り出し、冷蔵庫に保管 | ワクチンは当日、保冷バッグにより配送されてきた(衝撃に弱いので、かなり厳重になっていた)火傷しないように軍手をして看護師が取り出す ①当日分は机上で常温解凍 ※常温解答の場合は2時間以内に希釈 ②翌日分は冷蔵庫補充 | ワクチンはヤマト運輸の専用便で前日に配送される。かなり厳重なクーラーボックス(重い)にワクチンが入っており、玄関から医務室まで施設職員が届ける。やけど防止のため軍手を使用する。ワクチンを取り出し冷蔵庫で保管する。ボックス内に温度計があり、マイナス33度で届く。空になったボックスを配達員に返却するがその際に温度を聞かれた。 | 4/ 9(金) 4バイアル(4/12分) 4/16(金)11バイアル(4/16・4/19分) 4/23(月) 6バイアル(4/23分) ※ワクチンと共に注射針・シリンジ等を受け取る ※保管中は2回/日、冷蔵庫内温度確認 | 接種予定週の月曜日に配送され、配送業者と看護師にて配送温度、内容物の確認を行いながら看護師が取り出す。 接種日の金曜日までは冷蔵庫にて解凍、保存。 | ワクチンは2日分が4/12に保冷バッグで配送されてきた。 宅配便だが通常の配送車ではなく、配送担当も二人掛かりだった。 翌日、翌々日の接種日までは施設の冷蔵庫で保管。(冷蔵庫の今後は事前に確認、調整しておいた。) | ワクチンは当日、-25℃ 以下に保たれたBOXで配送されてきた(衝撃に弱いのでかなり厳重であり、温度管理が重要なため、かなり低温である) 耐冷手袋で看護師が取り出す ①当日分は机上で室温解凍 ※室温解凍の場合は2時間以内に希釈する。 ②翌日分は冷蔵庫保管(2～8℃) |
| | 設問10 | 誰が希釈準備・希釈したか／ 希釈にかかった時間 | 希釈準備・希釈したのは協力医療機関の薬剤師 希釈時間は40人分を60分の予定で実施 | 希釈準備、希釈をしたのは施設看護師 梱包されているシリンジを使用 生理食塩水を吸い上げるために針は1本多く入っていた バイアルに生理食塩水を注入する際の内圧が高かったという看護師からの感想があった。 希釈したワクチンは衝撃を与えないように10回転倒混和していく。 | 希釈準備・希釈、充填は施設看護師2名で対応。梱包されていた備品使用。生理食塩水をバイアルに注入時、やや抵抗強め、自然にエアがシリンジ内に戻ってくる状態。使用の針が細いため、充填時、バイアルからの漏れもなく問題なく準備できた。事前にファイザーの動画を視聴していたため、混乱することもなく、20分ほどで準備完了している。 | 対応者→ (1・2回目)嘱託医と施設看護師3名 (3・4回目)看護師3名のみ 時間→20名分が15分強 ※事前に嘱託医が医療従事者用のワクチン を、クリニック内で希釈やシリンジへの充填等を体験してくれていたため、20名分の希釈に30分を見込んでいたが、当日はスムーズに実施できた。 | 看護師4名で希釈 30名分が約30分 | 希釈作業は施設の看護師2名が担当 事前に市から推奨された手順動画を見て作業の留意点を把握してから作業にあたった。 初日は希釈・充填までを手順確認しながら慎重に行い、70名分に1時間以上をかけたが、二日目は80名分を1時間弱で終えた。 | 対応者→医務室看護師2名で準備・希釈とシリンジへの充填を行う。 1名の看護師が10名分の希釈・充填を行い2名の看護師で合計20名分の希釈・充填を行った。 国配給の接種用:1.0mlシリンジ・25G注射針 国配給の希釈用:3.0mlシリンジ・25G注射針 所要時間→10名分で30分。 10回程度上下に反転(転倒混和)するにあたりファイザー製薬の希釈動画を参考にし衝撃に弱いワクチンの取り扱いについて学習した。転倒混和は希釈前と希釈後に行うため、初回はかなり慎重に行ったため10名で30分を要した。 |
| | 設問11 | 誰が接種したか | 接種実施医師 | 接種実施医師 | 嘱託医 | 接種実施医師 | | 嘱託クリニックの医師 | 嘱託医 |
| | 設問12 | 接種時の職員体制 | 医師:1名 看護師:3名 医療事務:1名 介護職員:各ユニットに1名+フリー2名 介護支援専門員:1名 | 医師1名 看護師6名 介護職員7名 | 医師1名 看護師4名(施設職員) 介護職員4名(各フロア) | 医師1名 看護師4名 介護職員4名 相談員 4名 | 医師1名 看護師6名 介護職員8名 | 接種自体は医師1名、看護師2名体制 接種後の様子観察は各ユニットの介護・看護職 | 医師1名 看護師5名 相談員1名 介護職員1名 |
| | 設問13 | 施設看護師の役割 | 医師のサポート及び見守り | 希釈準備、希釈 | 接種日と入浴の調整と予診票の記入、マニュアル | 希釈準備、希釈 ※1・2回目は嘱託医と一緒に希釈 | 希釈準備・希釈・接種 | 希釈準備、希釈、接種時の医師サポート | 接種ワクチンの準備、希釈、シリンジへ充填作業、接種時の介助、当日の入居者様の検温、全身観察。 |
| | 設問14 | 接種場所 | 各ユニットの共同生活室 | 施設内各ユニット(共同生活室) ※施設形態:ユニット型個室 | 2階3階の食堂フロア(普段から日中過ごす場所) | 3階に接種・経過観察会場を設け、マスク・手指衛生・換気・距離確保等感染防止対策徹底の上、各フロアから利用者が移動 | 食堂 | 各ユニットの共同生活室 出てこれない方については居室で対応 | 施設入居者様用の2階食堂にて実施 |
| | 設問15 | 接種後の経過観察方法／ 接種後の経過観察場所 | 接種後30分は医師が待機／ 接種者は共同生活室で過ごし、30分間経過観察 | 接種後30分、医師が待機／ 接種ユニット(共同生活室)に場所を設置 | 接種後30分程度経過観察。嘱託医は接種後に回診のため施設内にいる状況。当日接種者には首からホルダーをかけたいただき、接種者だと把握しやすいようにした。 | 接種後30分は会場に留まってもらい、経過観察 ※誰が30分経過したかわかるように、ラベルシールに名前と接種時間を記入し、見えるところに貼付、30分経過した方から医師の了解の上で順次戻っていく工夫をした | 接種後30分はその場にいてもらい経過観察 | 接種後30分は接種場所にとどまっていたきフロアの看護職、介護職が様子観察。 その後についても事前にチェックシートを用意し、1時間後、3時間後などポイントを設定して体温測定を含めた様子観察。 | 接種後30分は会場に留まってもらい、経過観察 ※誰が30分経過したかわかるように、ビニールテープに接種時間を記入し、車いすのグリップに貼付、30分経過した方から医師の了解の上で順次戻っていく工夫をした |
| | 設問16 | 接種後の健康管理方法／ 接種後の入浴有無 | 当日の入浴は無し、前後日に振り分け | 当日の入浴は無し、前後日に振り分け | 接種後2日間は入浴中止、3日間はチェックリストに沿った健康観察 | 接種当日の入浴は、前後別日へ変更 | 当日の入浴は中止 | 当日の入浴は無し。フロア行事もなし。 | 当日の入浴は無し、前後日に振り分け |

| | | | | | | | | | |
|-------|------------------|--|---|---|--|--|--|--|--|
| | 設問17 | 余剰ワクチン(当日体調不良者分等のワクチン)の取扱い | 職員に接種 | 職員、新規入居者 | 当日体調不良者や入院者があった場合は、別日の接種予定者を繰り上げよう調整したが、入浴等の関係で調整は困難だったため、職員に接種した。予め優先リストを作成。 | 当日体調不良で接種を見送った方がいたが、その分は次回接種予定の方を繰り上げて対応。 1回目最終日(4/23)に余剰分は職員へ接種(3名分) | 当日接種できない方の分は次のグループの方を繰り上げて対応。 体調不良者等は繰り上げ、繰り下げ等で調整したため4/28に90名全員が1回目接種終了 | 余剰ワクチンは施設の看護職、介護職に接種。 余剰が発生することを予想して、事前に職員の接種者候補リストを用意していた。 | 当日体調不良の中で4名接種を見送った方がいたが、その分は次回接種予定の方を繰り上げて対応、職員への接種は無し ※4/23は1回目最終日になるので、余剰分は職員接種予定 |
| 事前準備等 | 設問18 | 名簿提出後の入退所者の扱い | 今後の課題 | 対象者の人数を確認しながら、接種実施医師と相談の上、実施予定 | とくになし。 | 入退所等変動なし | 提出後に新規入所された方は接種券が手元でない状態で接種。 | 対象者の人数を確認しながら、接種実施医師およびワクチン接種調整室と相談の上で、実施予定 | 対象者の人数を確認しながら、接種実施医師と相談の上、実施した |
| | 設問19 | 接種券、予診票で困ったこと・対応 | 住所地が川崎市外の方の接種券が当日に間に合わず、後日郵送されてきたため、処理が遅れた | ・予診票は3月下旬に川崎市から届き、1、2回目とあわせて御家族に送付 ・御家族からは一週間以内に100名以上分が返送(副反応についての質問は多かった) ・予診票の設問項目に接種有無についての質問があり、1回目分については「無し」になるが、2回目分については接種前提なので、「有り」になるのが注意点である ・市外の方の取得の際には川崎市に調整をお願いした ・自治体により予診票様式に差異があったが、川崎市に確認の上で川崎市の様式を使用 ・生活保護の方についても医療券の関係があるので、川崎市に事前確認が必要 | ・接種日、接種回数が複数のため、予診票の枚数が多く管理が煩雑。ロットのシール貼付についてもインフルエンザと異なることも若干あり注意が必要・事前に対象となる血液さらさらの薬を内服している利用者について薬局に問い合わせ、リスト化していただいた。 | ・接種同意書を得たうえで、接種日前日までに再度電話で同意確認を行った ・市外の方は、接種券の入手に時間を要したため、後半(4/19.4/23)での接種となった ・接種2日後にご家族あて経過を電話連絡した ・2回目の接種も前後での電話連絡を予定 | 特に無し | 予診票は3月中に受領したが、接種予定日が近く、この1年の身体状況は施設側の方が詳しく把握していることから、施設医務課で作成することとした。 予診票を施設で作成することも含めて同意書で確認してもらう形とした。 接種券は、川崎市以外の方は接種までに揃わない方もおられたが、市、接種医師とも相談し、接種自体は進めることとした。 | ・ワクチン接種に関する意向確認書を3月末に御家族に送付。希望者は予診票の記入等接種に必要な手続きを施設に一任するという内容で返信していただいた。(書式は市からの雛形を活用) ・御家族から2週間以内に返信があった。 ・市外の方の接種券は、川崎市で調整して届けて頂いた方、ご家族に届けて頂いた方、ご家族に確認したが接種後にも届いていない方もあった。 |
| | 設問20 | 接種券は全員分届いていたか | 同上 | 届いていない方もいた、こちらも自治体の対応に差異がある | 他市町村に住所がある方は届いていなかった。予診票で対応し、後に送られる接種券にロット番号のシールを貼る。 | 川崎市外3名含め全員が事前に届いた | 新規入所者以外 | 川崎市以外に住民票のある方の一部は、接種までに届かない例があった。 | 届いていない方もいた、こちらも自治体の対応に差異がある |
| | 設問21 | 65歳以下の方の対応 | 該当者なし | 施設入居者として同対応 | 他入所者と同じく接種する。 | 施設入居者として同対応 | | 該当者なし | 施設入居者として同対応 |
| | 設問22 | 事前意向調査等でワクチン接種を拒んだ方の人数 | 5名 | なし | 2名 | 2名 | 無し | 4名 | なし |
| | 設問23 | 接種を拒んだ方、接種に難色を示された方への対応 ※対応の際に活用した資料があれば別途ご提出いただけると幸いです | 2名は終末期の方 3名は医師の判断 | ※御家族からはやはり副反応に関する質問が多くあった。 接種実施医師からのアドバイスにより、接種するリスク、接種しないリスクについてテンプレート形式で説明。 | 全入所者ご家族にファーマー社から出ている説明書と施設からの通知文及び同意書を郵送。 | ワクチン接種辞退の意思が明確であった | 同意書を依頼した段階で、ワクチンとその副反応についての資料(市から紹介されたもの)を添付した。 同意書提出の段階で回避の意向を示された方については、意向を尊重し、施設での接種の対象外とした。 | ※御家族からはやはり副反応に関する質問が多くあった。 接種実施医師からのアドバイスにより、接種するリスク、接種しないリスクについてテンプレート形式で説明。 | |
| | 設問24 | 接種前に用意する備品(配置医) | 輸液セット、アドレナリン等 | 挿管用医療機器、輸液一式、アドレナリン等 | | 輸液一式、エビエン等 | 輸液一式、アレルギー薬等 | 挿管用医療機器、輸液一式、アドレナリン等 | 消毒用アルコール、使用後の針捨て容器、膿盆 医療用トレイ、ワゴン、シンジジ、ディスポグローブ、 国配給の25G針余り分等 |
| | 設問25 | 接種前に用意する備品(施設) | 通常の予防接種に必要な物品 | 通常の予防接種に必要な備品、冷蔵庫 軍手(ワクチン取り出すため) | インフルエンザ予防接種と同じ | 通常の予防接種に必要な備品、冷蔵庫 軍手(ワクチン取り出すため) | 予防接種に必要な備品一式 | 通常の予防接種に必要な備品、冷蔵庫 軍手(ワクチン取り出すため) | 通常の予防接種に必要な備品、冷蔵庫 耐冷手袋(ワクチンを保冷BOXから取り出すため) |
| | 設問26 | 用意しておいて便利だったもの・あると良かったもの | | ワクチン(バイアル)ホルダー | カラータグ(ネックホルダー)、接種後の健康観察チェックリスト | 宛名シール(接種時間を記入して利用者肩に貼付) | | | アルコール消毒にアレルギーのある方や当日の注意点などを書きだしたホワイトボード |
| | 設問27 | 副反応が起きた際のために用意していた備品・対応 | AED、酸素、ストレッチャー等 | 酸素、アンビューバック、吸引用医療機器等 | コロナール錠 | アンビューバック、AED | 輸液一式、アレルギー薬等 | 医務課の常備品に追加したものは特になし。 | AED、挿管器具一式、アンビューバック、酸素ボンベ、ルート確保用物品、輸液用物品、吸引器と吸引物品、アドレナリンアンプル、点滴台等 |
| 設問28 | 副反応が起きた入居者の様子・対応 | 重度の副反応なし、発熱なし | 直後は1名ほど注射部位のかゆみ訴えあったがすぐになくなった。 | 接種部位の軽度痛みのみ。1～2日で消失 | ・副反応なし、翌日以降の発熱等もなし。 ・痛みがあるかという問いに「腕が痛い」と回答した方はいた。 | 副反応なし | 接種後に意識レベル低下が1名あったが医師が対応し回復。通常の服薬による反応の一環との判断であった。 その他で副反応にあたる症状はなかった。 | ・直後は1名ほど注射部位のかゆみ訴えあったがすぐになくなった。 | |
| その他 | 設問29 | 備 考 | 接種後30分後に血圧が低下した方がいた。臥床後は平常時に戻る。排便ショックの疑いもあり。ワクチンの副反応かは不明。 | ワクチンの副反応ではなかったが極度の緊張により血圧が下がった方がいた。医師は迷走神経反射と判断、臥床し10分程度でもとに戻った。 | 事前に接種予定者と入浴予定表、接種後の注意すべき症状と対応フローチャートを介護職員に配布し、情報共有を図っている。 | | 嘱託医の指示によりてんかん等の発作がある方は医師2名体制の下での接種を行った | 希釈作業は、慎重に作業すると1バイアルから6回分が採取可能だが、ワクチン供給は5回分採取で管理されているので、5回分採取で統一することが重要。(市紹介のファイザーの手順紹介動画では6回分採取が示されている。) | ・希釈・充填などの作業はダブルチェックで・声出し・指差しの確認が行えると作業に不安がなくてスムーズに行える。 ・今回当園はファイザー社製のワクチンであった。2回目の接種は21日ジャストで接種実施と決まっているため、1回目の接種日のチェック体制を整えていく必要がある。 |